

# 荷合せ品のGTIN対応 [ケース(外箱)／梱(荷合せ)]

2010.07.01

## (1) 商品マスタ登録申請書

( 荷合せ品 : 10袋入／ケース × 3個合せ )

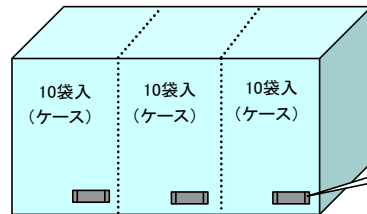
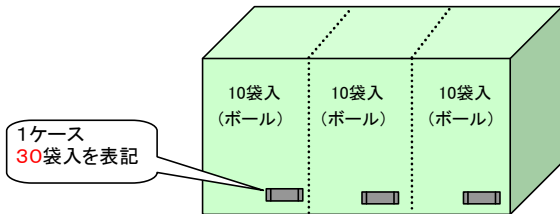
登録項目	現ルール
BL(内箱)内PS数	10
CS(外箱)内PS数	30
入荷単位CS数	1
サイズ指定	ケース／ボール／ピース



新ルール
0
10
3
ケース／ピース

単品GTIN	04912345123459	付番方法
内箱GTIN	なし	ボールなし
外箱GTIN	14912345123456	一致型
荷合せGTIN	付番なし	不一致型

※ 荷合せGTINはバーコード表記しない。  
当面は付番しない。



荷合せ(梱)  
バーコードは表記しない

14912345123456 (外箱GTIN)

※ 自動倉庫では、数量カウント方法に注意する

## (2) 単品換算で60袋を発注する場合

		現ルール			
発注単位	発注数	伝票表示			
		内容	ケース	ボール	バラ総数
発注(ケース数量) <端数なし>	2	10×3	2		60
発注(ケース数量) <端数あり>	6	10		7	70
発注(ボール数量)	6	10		7	70
発注(バラ数量)	60				60



		菓子業界推奨表示(例)			
発注数	伝票表示				
	内容	ケース	ボール	バラ総数	
6	(10×3) 10	(2) 6		60	
7	(10×3) 10	(2) 7	<1>	70	
不可	ボール発注は不可				
60				60	

## (3) 運用上での考慮点

- ・荷合せGTINでの発注の場合は、ケース数=(発注ケース数×入荷単位CS数)とする
- ・端数(入荷単位ケースの倍数以外)の発注には都度対応するがなるべく避ける

### ② 配送担当者および運転手への伝票表示変更説明が必要 (2段表示は推奨とする)

- ・ケース数(下段)と梱包数(上段)の併記を行い、配送ミスを防ぐ  
(梱包数はケース欄上段に“( )”、端数はボール欄上段に“<>”表示する)  
(合計欄には、荷合せ品は梱包数、一般品はケース数を加算してケース欄上段に“( )”表示)

### ③ 物流費計算システムへの対応 (1個口の数量換算変更が必要)

- (ケース数量に加え、荷合せケース数、荷合せ梱包数を受渡し、物流費計算処理を見直す)

### ④ 梱包数単位で発注が来ても、梱包割れまたはロット割れして出荷される場合がある

※ 荷合せGTIN対応品は、従来品と区別する為  
商品コード表示欄の上／下／右側に  
「GTIN」表示した方が間違いが少ない。  
(ただし、移行期間だけの対応とする)



# 荷合せ品のGTIN対応 [ボール(内箱)/ケース(外箱)/梱 (荷合せ)] 2010.07.01

## (1) 商品マスタ登録申請書

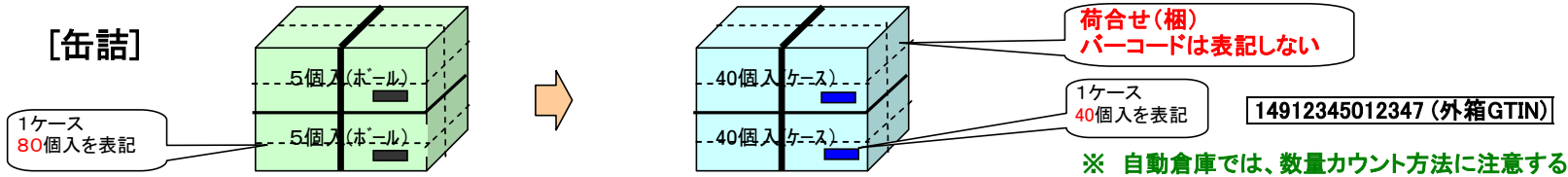
( 荷合せ品 : 5個入/ボール 20個入/ケース × 2梱/荷合せ )

登録項目	現ルール	新ルール
BL(内箱)内PS数	5	5
CS(外箱)内PS数	80	40
入荷単位CS数	1	2
サイズ指定	ケース/ボール/ピース	ケース/ボール/ピース

単品GTIN	04912345012340	付番方法
内箱GTIN	84912345012346	一致型
外箱GTIN	14912345012347	一致型
荷合せGTIN	付番なし	不一致型

※ 荷合せGTINはバーコード表記しない。  
当面は付番しない。

[缶詰]



※ 自動倉庫では、数量カウント方法に注意する

## (2) 単品換算で160個...を発注する場合

発注単位	発注数	伝票表示			
		内 容	ケース	ボール	バラ総数
発注(ケース数量) <端数なし>	2	5X16	2		160
発注(ケース数量) <端数あり>	2	5X16	2	8	200
発注(ボール数量)	30	5		30	150
発注(バラ数量)	120				120

発注数	伝票表示			
	内 容	ケース	ボール	バラ総数
4	(5X8X2) 5X8	(2) 4		160
5	(5X8X2) 5X8	(2) 5	<1>	200
30	5		30	150
120				120

菓子業界推奨表示(例)

## (3) 運用上での考慮点

- 発注対応
  - 通常のケース発注では、入荷単位ケース数の倍数での発注とする
  - 荷合せGTINでの発注の場合は、ケース数=(発注ケース数X入荷単位CS数)とする
  - 端数(入荷単位ケースの倍数以外)の発注には都度対応するがなるべく避ける
- 配送担当者および運転手への伝票表示変更説明が必要 (2段表示は推奨とする)
  - ケース数(下段)と梱包数(上段)の併記を行い、配送ミスを防ぐ
  - (梱包数はケース欄上段に“( )”、端数はボール欄上段に“<>”表示する)
  - (合計欄には、荷合せ品は梱包数、一般品はケース数を加算してケース欄上段に“( )”表示)
- 物流費計算システムへの対応 (1個口の数量換算変更が必要)
  - (ケース数量に加え、荷合せケース数、荷合せ梱包数を受渡し、物流費計算処理を見直しする)
- 梱包数単位で発注が来ている場合、梱包割れまたはロット割れして出荷される場合がある

※ 荷合せGTIN対応品は、従来品と区別する為  
商品コード表示欄の上/下/右側に  
「GTIN」表示した方が間違いが少ない。  
(ただし、移行期間だけの対応とする)

01234
55Gインスタント カレー
GTIN